

見積参考資料

工事名 北七区地内圧送管布設工事

- 1 本見積参考資料は、積算数量及び任意仮設の積算内容を示したもので、請負契約上の拘束力を生じるものではなく「設計図書」とはならない。
よって、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- 2 工事数量総括表において「作業土工、型枠工、仮設工（土留、仮締切り、足場、支保等）」の数量を表示したものは、見積りのための参考数量を示したものであり、入札価格内訳書の作成及び契約を拘束するものではない。ただし、指定した場合を除く。

3 設計金額の表示単位

本工事の設計金額の表示単位は、以下のとおりとする。

項 目	数値処理	単位（円）
1. 施工代価表	1 円未満切り捨て	円止まり
2. 直接工事費	—	円止まり
3. 処分費等控除額	1 円未満切り捨て	円止まり
4. 共通仮設費積上げ分	—	円止まり
5. 共通仮設費率分	千円未満切り捨て	千円止まり
6. 純工事費	—	円止まり
7. 現場管理費率分	千円未満切り捨て	千円止まり
8. 工事原価	—	円止まり
9. 一般管理費等	工事価格が万円単位になるように、 10,000 円未満を端数調整	円止まり
10. 工事価格	—	万円止まり
11. 消費税相当額	—	円止まり
12. 請負対象工事費	—	円止まり

4 積算条件

本工事は、下記の条件で積算を行っている。

① 資材単価適用年月 令和 8 年 3 月

「岡山市公共工事設計資材単価表」は、以下の方法で確認できます。

a) 閲覧される場合

岡山市役所 本庁 2 階行政事務管理課情報公開室

b) ホームページより閲覧

<https://www.city.okayama.jp/jigyosha/0000004448.html>

上記ページの「岡山市公共工事設計資材単価について」に掲載しております。

② 「土木工事市場単価」及び「土木工事標準単価」適用年月 令和8年 1月

③ 積算基準書年版 令和7年度

閲覧される場合

岡山市役所 本庁2階行政事務管理課情報公開室

④ 間接工事費

土木工事標準積算基準書

間接工事費の工種区分	下水道工事（2）
間接工事費 の施工地域補正区分	<input type="checkbox"/> 一般交通影響有り（1） <input checked="" type="checkbox"/> 一般交通影響有り（2） <input type="checkbox"/> 市街地（DID補正） <input type="checkbox"/> 山間僻地及び離島 <input type="checkbox"/> 該当なし（補正なし）

⑤ 一般管理費等

前払金支出割合	35%を超えるもの
契約保証の方法	金銭的保証

上記積算条件は、当該工事の許容価格算出のために使用した条件であり、入札の公平性並びに円滑化を図るため示したもので、入札者の判断基準等を拘束するものではない。よって、上記記載の条件は、入札者の判断基準と相違する場合であっても変更の対象としない。

5 仮設材質料積算条件

本工事は、下記の条件で仮設材質料の積算を行っている。

- （1）開削工事における軽量鋼矢板、アルミ矢板、軽量金属支保及び水圧ポンプの積算条件については、見積参考資料(2)に記載している。
- （2）鋼矢板等の1現場あたり修理費及び損耗費は、令和7年度版建設機械等損料表によるものとする（小数点以下切り捨て）。現場における使用回数が1を超えるものについては補正率（有効数字2桁、3桁目四捨五入）を使用している。覆工板受桁の修理費及び損耗費算定のための係数はH型鋼（山留主部材）の係数を使用している。
- （3）覆工板、覆工板受桁、覆工板ずれ止めの積算条件については、見積参考資料（2）に記載している。

6 締切排水工積算条件

開削工事における工事用水中ポンプの積算条件については、見積参考資料(2)に記載している。

7 資材価格等

(1) 決定単価

本工事は、下記のとおり実勢取引価格調査及び見積りに基づき決定した価格を使用している。

名称	規格	単位	単価(円)	備考
受挿ソフトシール仕切弁	FCD φ250 外ねじ 下水道用 7.5K 内面 ^ポ キシ樹脂粉体塗装	個	995,000	
両受ソフトシール仕切弁	FCD φ250 外ねじ 下水道用 7.5K 内面 ^ポ キシ樹脂粉体塗装	個	1,000,000	
空気弁用鉄蓋	φ900-φ600親子蓋 (重蓋)	個	455,000	
下水道用空気弁	補修弁付 φ75 7.5K	個	541,000	
組立1号人孔斜壁	φ900-φ900×300	個	38,800	
組立1号人孔底板	φ1100×130	個	26,900	
下水道用表示テープ		m	160	
推進伝達リング	さや管SP φ500A 内管DCIP φ250	個	27,600	
鋼管	φ500, L=1.0m	本	43,500	
推進機損料	SH46型	(日)	136,000	
ケーシングロッド	L=1.0m, 鋼管呼び径 φ500, 普通土	本	347	
刃先本体	鋼管呼び径 φ500, 普通土	個	2,080	
切削ビット	鋼管呼び径 φ500, 普通土	組	4,610	
偏心先導管	鋼管呼び径 φ500, 普通土	組	409	
機械器具損料	(管挿入費)	(円/m)	4	
止水器	径500mm	組	94,000	
ポリエチレンスリーブ	φ250用	m	468	
粘着テープ		m	29	
エンジンカッター		日	508	
溝切り刃価格		(円)	52,900	
切断刃価格		(円)	18,700	
鋳鉄管切断機溝切り加工機	タッピンねじ用450mm以下	日	838	

※消費税は含まない。現場着価格である。

- (2) 下水道工事関係歩掛、岡山市公共工事設計資材単価表及び岡山市下水道工事設計資材単価表を本市情報公開室（本庁舎2階）にて公表しているので閲覧で確認すること。

8 その他

- ① 「六価クロム溶出試験費」・「汚泥試験費」は、現場管理費および一般管理費等の率計算の対象外である。
- ② ボーリング式二重ケーシング方式鋼管推進工における推進日進量は4.0m／日、中込注入工日当り注入量は3.5m³／日としている。
- ③ 施工代価表第0-0068号、第0-0073号の薬液注入（二重管ストレーナ工法）の1本当り諸雑費については、労務費及び機械損料の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上している。
- ④ 施工代価表第0-0070号、第0-0071号の削孔材料消耗費（二重管ストレーナ工法）の1m当りその他雑品については、二重管ボーリングロッド、メタルクラウン、グラウトモニタの合計額に率を乗じた金額を上限として計上している。
- ⑤ 施工代価表第0-0072号の注入材料消耗費（二重管ストレーナ工法）の1kl当りその他雑品については、グラウトモニタ、注入ホース類、サクシオンホースの合計額に率を乗じた金額を上限として計上している。
- ⑥ 下記の歩掛については、「令和7年度改訂版 水道事業実務必携(全国簡易水道協議会)」によるものとする。
 - 施工 第0-0010号表～施工 第0-0024号表
 - 施工 第0-0026号表
 - 施工 第0-0028号表
 - 施工 第0-0057号表
 - 施工 第0-0139号表